

絆を深め、様々な課題を解決して、誰もが生き生きと暮らす芳田の里

芳田自治協議会だより

2025年1月
NO. 35

編集・発行：芳田自治協議会 芳田の里ふれあい館内
☎ 27-0066 e-mail:houtajichikyou@outlook.jp

二地域居住の山田さんご夫婦にインタビュー

10月から旧水尾町公民館で二地域居住を始められた山田さんご夫婦にいろいろと聞いてみました。

【Q1 どうして二地域居住をしようと思われたのですか】

自分で作った野菜を食べること、土と戯れることに憧れておられて、田舎暮らしをしたいと思われたそうです。ただし、都市部は都市部のよさがあるので、田舎への移住ということは考えず、都市部と田舎それぞれのよさが味わえる二地域居住を山田さんご夫婦は選ばれました。

【Q2 どうして芳田を選ばれたのですか】

山田さんご夫婦の二地域居住は初めてではなく、すでに11年前から多可町の滞在型市民農園ブルーメンやまを活用されていました。そこへ行くのに芳田は通り道で、山にはさまれたところに田んぼ、野間川等があり、自然豊かな芳田が気に入られたそうです。旧水尾町公民館の存在は芳田自治協議会のホームページで知ったとのことでした。

【Q3 芳田で暮らしてどんなところがよかったですか】

山田さんご夫婦はすでに畑を借りて野菜を作られたり、芳田地区全域を散歩されたりして二地域居住を楽しまれています。また、芳田の里ふれあいフェスタはもちろんのこと、角尾山登山道整備や交流農園プロジェクト・カブトムシの里プロジェクトにも参加されています。

芳田地区はみんながウェルカムで、近所の方に親切にしてもらっていることに山田さんご夫婦は感謝されています。ブルーメンやまでは施設利用者同士の交流が主な目的であって、地元住民との交流の機会は少なかったそうです。その点、芳田では地元住民との交流に魅力を感じられており、芳田での生活を満喫されています。

貸し農園を芳田でしてほしいというのがお二人のご希望です。野菜を自分で作って食べたいという都市部の方のニーズは十分にあるとのことでした。



旧水尾町公民館前で

芳田の里キッズイルミネーション点灯中

芳田地区の冬の風物詩「芳田の里キッズイルミネーション」が今年も芳田こども園で点灯しています。この催しは芳田こども園の全面的な協力により実現したもので、「子どもたちは芳田の宝物」という思いが込められています。

昨年度に引き続き今年度も株式会社アクールさんによって写真のような特大のクリスマスツリーが設置されました。ツリーは鮮やかな電飾で飾られ、アクールさんには設置のために足場を組んで早くから作業に取りかかっていたいただきました。ありがとうございました。

点灯期間は1月17日までの予定です。イルミネーションを見ると、寒くても心が温まります。地域の願いが込められたイルミネーション、ぜひお楽しみください。



アクールさん提供ツリー

イルミネーション点灯式を開催

イルミネーションの点灯初日の12月14日(土)、芳田こども園の園児や保護者など120名の来場者と一緒に行いました。

点灯式では、神戸マツダ西脇店とNPO法人あしたあさってから来場者へプレゼントが配布されました。また、関西学院大学石田ゼミの学生さんも応援に駆けつけていただきました。芳田こども園によるじゃんけん大会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

色とりどりのイルミネーションが点灯した芳田こども園では、子どもたちは歓声をあげて運動場を走り回り、幻想的な夜の芳田こども園を楽しんでいました。このイルミネーションが、芳田の楽しい冬の思い出として、いつまでも子どもたちの記憶に残ってほしいと思います。



園長先生とじゃんけん



県道側から

角尾山の登山道整備が完了

令和4年度から整備を行っていた角尾山の登山道整備プロジェクトが今年で完了しました。

朝日新聞に登山道整備についての記事が掲載されたこともあり、山頂の絶景を求めて多くの登山客が訪れています。新聞掲載記事と主な整備内容を紹介します。

【主な整備内容】

- ・頂上付近の伐採、展望の確保
- ・新登山道の設置
- ・ロープの設置や更新
- ・案内看板の設置
- ・危険木の伐採
- ・雑木の除去や下草刈り など

3カ年の予定で進めていた角尾山の登山道整備ですが、来年度以降も交付金が出ることで、引き続き整備を継続することができるようになりました。今後も地域のシンボルである角尾山が、住民や訪れた人から愛される場所となるよう、整備を続けていきます。



西脇・角尾山

絶景ぐるり 復活

西脇市芳田地区の住民たちが、地元の角尾山（標高349.7m）の登山道を新たに整備し、山頂のパノラマ展望を復活させた。より美しい紅葉を楽しんでほしいと、子どもたちの協力でモミジの苗も植樹。住民らは「大勢に愛される山になってほしい」と交流人口の拡大に期待を寄せる。

芳田地区住民が登山道整備

角尾山は笠取期、山頂に山城が築かれ、今も櫓状の石垣が残る。全方位に眺望が開け、市街地や近隣の山々のほか、天候に恵まれれば明石海峡大橋まで目にする「ことができた」。

芳田地区（住民約1700人）では、令和4年11月、住民をあげてさまざまな地域の課題の解決を図る「区長会や小中学校のPTAなど」「芳田自治協議会」を設立。地元で

「このおきん」の呼び名で親しまれてきた角尾山の秋道が荒れていたため、22年からボランティアによる登山道の整備を始めた。

一定期間登山道の下車を止つたり、踏道の妨げになっていた雑木を伐採したり、案内板も新設。さらに登山ルートの一部を変更し、300ほどの新道を整備した。

今年2月には登山道の開通を記念し、植樹祭を開いた。地元の子供連れら約50人が参加し、登山道の途中にある秋道脇にモミジの苗木を植樹した。

（2）は地元生まれ育つた若い（3）は、角尾山は秋も遅く、山頂として地域の生活に欠かせない存在だったと、山でいるという経験を伝えてきた。子どもたちだけでなく、その保護者もあつたことを語りだして、おきんを呼びたいと話す。

芳田地区からの登山道は同市岡崎町の「芳田の里ふれあい館」から頂上まで約2.5kmあり、所要時間は登りで1時間半程度。問い合わせは同協議会（079-27-0066）。（大久保 隆）

角尾山の登山道にモミジを植樹する親子連れ

芳田地区整備する山

芳田地区整備する山

交流農園でクリスマスリースづくり

12月8日(日)、落方町内で整備を進めている交流農園でクリスマスリースづくりをしました。この企画は交流農園整備に参加するメンバーが企画したもので、交流農園の活用イベントとして開催しました。リースづくりには26名の親子が参加し、フジのツルや松ぼっくりなどの自然素材を活用してリースづくりを楽しみました。



イベント当日は、加東市のカフェ「心花（ココハナ）」さんによるピアノの生演奏とコーヒーのケータリングがあり、ゆったりとした居心地のよい空間となりました。会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。

【交流農園の今後の整備予定】

- 1月18日(土) 13:00～ 第3回 DIYワークショップ
- 2月15日(土) 13:00～ 第4回 DIYワークショップ

※くわしい内容は HP 等でお知らせします。

合山町花壇に金魚草

1月27日(水)、夢うさぎのみなさんが合山町の花壇に金魚草の苗を植えられました。これからきれいな花が咲いて、みんなを楽しませてくれることでしょう。

先に紹介した山田さんご夫婦は多可町のブルーメンやまとへ行かれるときに合山町の花壇にも目を止められたそうです。また、芳田ふれあい直売所に立ち寄られたこともあって、直売所のスタッフのみなさんといろいろお話をされたそうです。

夢うさぎも芳田ふれあい直売所も、芳田地区の魅力発信に貢献していただいています。2団体の取り組みが山田さんご夫婦にいい印象を与え、芳田地区を二地域居住の場所に選ぶ決め手の一つになったとするならば、うれしいことです。



金魚草を植えられる夢うさぎのみなさん

芳田地区1月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	水		17	金	自治協産業・観光部会 19:00～
2	木		18	土	スマホ教室 10:00～
3	金				交流農園ワークショップ 13:00～
4	土		19	日	
5	日		20	月	区長会 19:00～
6	月		21	火	
7	火		22	水	
8	水		23	木	
9	木		24	金	自治協役員会 19:00～
10	金		25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月		28	火	自治協空き家対策プロジェクト委員会 19:00～
14	火	自治協安全・安心部会 19:30～	29	水	
15	水		30	木	
16	木		31	金	

